

「星は先に進んで」

イザヤ書 第60章4節～7節
マタイによる福音書 第2章7節～12節

説教 岡村 恒牧師

「彼らはその星を見て、非常な喜びにあふれた。」(マタイによる福音書 2章10節)この言い方は、博士たちの喜びが尋常な喜びではなかったことを表わしています。「宝の箱をあけて、黄金・乳香・没薬などの贈り物をささげた。」(2章11節)この3つを特に聖書は記し、代々の教会は贈り物の数から『3人の博士』と呼んできました。財産や地位や知識もある人物が、星を見つけ、星に導かれ、人生の全てをかけて旅をし、エルサレムの宮殿に到着しました。

当時のユダヤ人の王ヘロデは、祭司長たちと民の律法学者たちとを全部集めて、救い主はどこに生れるのかと尋ねました。そして博士たちを呼んで、星の現れた時について詳しく聞いたのです。それは自分の地位を守るためでした。その結果、ベツレヘムとその付近にいる2歳以下の幼子を皆殺しにせよという幼児大量虐殺の命令を出すことになります。

しかし、このヘロデ王の姿が、主イエスが地上に生まれた本当の理由を明らかにしています。あなたの人生のどの瞬間も神なしの瞬間などない。そしてこの神が、あなたを自分の者として生かすことを願い、あなたを招いている。そう聞くと私たちはヘロデ王になるのです。神なしに生きるために、自分の人生に他の者が入ることを拒みます。他の誰かが新しい王として到来することなど到底受け入れることができません。これは私たちが日常経験していることです。私たちの内、誰ひとりとしてヘロデ王と無縁な者などいない、と聖書は断言します。

博士たちはエルサレムの王宮に立ち寄りなくても星だけを頼りに行けばベツレヘムにたどり着いたかもしれません。しかし地上の立派な宮殿を見て、回り道をしてしまいます。目に見えるもの、人間の世界の権威に心を惹かれたのでしょうか。しかし彼らが本来の旅に戻ると、星は先に進んで、行くべき場所を照らしました。あの星の下に行けば、私たちの人生を根底から変えるお方がおられる。イザヤ書に書かれているように、700年以上も前にすでに神が約束をされたことが、今日ここで起こっている。博士たちはそのことを知って喜びにあふれました。私たちはこの博士たちの様に主イエスの前にひれ伏して拝むことはできません。しかし、私たちの救い主が

生まれた、そのことを知らせる星は、聖書の中から輝き出て、私たちを今日も導いています。

今日、4人の方が洗礼を受けます。洗礼は水に浸けられ、葬られることを意味します。しかし神がそこで葬られた者をもう一度引き上げて、新しい命を与えてくださいます。神なしに生きて来た生涯は葬り去られ、新しく主イエスの復活を身に帯びる永遠の命を持つ者として、今日から生き始めるのです。

博士たちは家にはいって、母マリアのそばにいる幼な子に会い、ひれ伏して拝んだと聖書は記します。クリスマスという言葉は《キリスト礼拝》という意味の言葉です。博士たちは、王であるお方に黄金を捧げて王冠の飾りを用意し、神に仕える祭司として、神に香ばしい香りを捧げる務めを主に果たして頂くために乳香を捧げ、私たちの為に十字架の上で死んで葬られる日の為に没薬を用意しました。

私たちの為に十字架に架かって死んでくださった救い主、主イエス・キリストは墓に葬られ、しかし、そこから引き上げられて今も生きておられます。私たちが主と同じように永遠の命を持つ者として生きる約束が確実な約束であることを、ご自身の復活によってお示しになりました。今日洗礼を受ける兄弟姉妹の様に、私たちも神の前に自分の全生涯、全身全霊を投げ出して、ひれ伏して拝みたいと思います。

やがて終わりの日、私たちが顔をそろえて神の前に立つとき、神ご自身が身を震わすようにして喜んでくださいます。神はあなたが信仰告白して洗礼を受ける日を待っておられます。やがて終わりの日に来られる救い主イエス・キリストを、その日その時ひれ伏して拝みたいのです。そこで神の国の食卓を皆で囲み、神の救いの約束が永遠に変わらない確かな約束であることを確認したいのです。今ここにおられる方が、ひとりも漏れることなくそこにおられるように、どうぞ主の招きに応え、主の救いを受け入れて歩んでください。神があなたを導いて下さり、博士たちが味わった喜びを遥かに超える大きな喜びを、あなたに与えてくださいます。これは本当に確かなことなのです。

(記 説教要約奉仕者)